

# 名取から世界へ羽ばたけ！ 青年たちが市長を訪問

3月8日(水)、2つの民間団体主催の事業で海外に飛び立つ青年たちが、それぞれ市長室を訪問し、佐々木市長から激励を受けました。その皆さんをご紹介します。



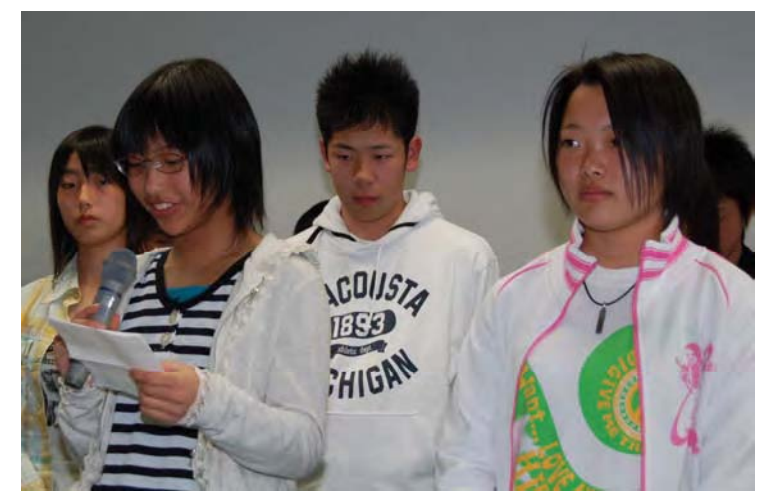
ロータリーの翼 派遣団員  
ボイスカウト名取第1団  
(左)春日 紗和さん(手倉田)  
(右)高橋 涼 君(飯野坂)

名取ロータリークラブの推薦で、3月13日(月)～25日(土)まで、アメリカに派遣。



ラボ国際交流センター  
カナダ高校生留学  
(前列左)飯澤 龍太 君(ゆりが丘)

今年の夏から約1年間、カナダに留学。  
(ゆりが丘でホームステイをしている、カナダ出身でラボインターンのチョザンヌさん(前列右)も市長室を訪れてくれました。)



3月29日(水)名取市中学生海外派遣事業壮行式で、見送りの保護者と来賓にあいさつをする団員たち。

## カナダ、ジャーニー・ミドルスクール訪問団来市 友情を交わした五日間

三月十日(金)～十四日(火)の間、名取市中学生海外派遣事業で交流のある、カナダ、ジャーニー・ミドルスクールから、二十人の生徒と三人の先生が名取市を訪れました。今回の訪問では、学校の所在地であるプリティッシュュロピニア州スーク市の市長、ジャネット・ナハンスさんも随行されました。生徒たちは名取市内のご家庭に家族の一員として迎えられましたがお別れの際には涙が止まらないくらい、お互いの友情を深めることができた五日間だったようです。



ちょっと緊張...でもうれしい  
ホストファミリーとの対面  
3月10日(金)



今回のホームステイでは、二十二組のご家族にホストファミリーとしてご協力いただきました。ホストファミリーは初めての方、何回か経験がある方、昨年の中学生海外派遣事業でジャーニー・ミドルスクールを訪れた生徒などさまざまです。カナダの生徒たちも、対面前は緊張していた様子でしたが、ホストファミリーに会った途端、満面の笑みになりました。東京にも数日滞在した彼らでしたが、やはり名取で過ごした五日間は、格別の思い出だったようです。今回は、ホストファミリーのお一人に、感想など

### 訪問団の来市日程

三月十日(金)

名取市に到着。名取市長と対面後、洞口家住宅、サイクルスポーツセンターなどを視察。西公民館では茶道・着物の着付けを体験。夕方、いよいよホストファミリーと対面し、ホームステイへ。

三月十一日(土)

サッポロビール仙台工場ゲストホールにて、歓迎式。その後は、ホストファミリーと自由行動。

三月十二日(日)

ホストファミリーと自由行動。

三月十三日(月)

消防署、サッポロビール仙台工場視察後、増田中学校で授業などに参加。

三月十四日(火)

朝、ホストファミリーとお別れ。松島視察後、仙台市内に宿泊。  
三月十五日(水)  
午前、東京へ出発。訪問団は東京視察後、三月十八日(土)帰国の途に着きました。





# 平成17年度名取市中学生海外派遣事業 派遣団 オーストラリアへ出発

3月29日(水) 平成17年度名取市中学生海外派遣事業の派遣団員たちが、いよいよ派遣先のオーストラリアへ向けて出発しました。

1月から11回にわたる事前研修を行い、英語やオーストラリアについて学んできた22人の団員たちは、4月1日(土)～5日(水)の間、ビクトリア州モナッシュ市にあるマウントウエイバリー・セカンダリーカレッジの生徒の家庭で、ホームステイ体験をします。



## 事前研修でのようす

副団長 飯澤寛美さんによる派遣に対する心構えを作る特別授業



「もしこんな風に何も話さない、笑わない、目も合わせない子が自分の家にホームステイしたらどうだろう...」ロールプレイやゲームなどを通して、ホームステイをする上で大切なことを考える楽しい授業でした。

英会話レッスン  
1月～3月まで 計9回



英語講師を迎えて、基本的な英会話を学びました。



名取市 ALT ビル先生による「オーストラリア・スタディランチ」



楽しく昼食会をしながら、オーストラリア出身のALT、ビル先生が制作したクイズやオーストラリアを紹介するビデオを通じ、オーストラリアの社会や文化などに触れることができました。



スーク市長から名取市長へ、市の旗が贈られました。

を伺いました。今回が初めてのホストファミリー体験でしたが感想は受け入れるまでは心配していましたが、とても楽しかったです。言葉の面では、子ども同士が会話をしている姿を見ていて、親ももっと英語を話すことができればよかったです。思いました。あと、ゲームソフトで日本語の発音練習ができるものがあり、カナダの子とそれで盛り上がりつつありました。困ったことはありませんか。食べ物、どのようなものか心配でしたが、うちに来た子は野菜類が好きで、野菜のみそ汁や果物をよく食べました。お寿司では蒸しえびや玉子などを食べていました。

たこはやはり嫌いなので、たこ焼きを食べた時は「オーバリアクションで、ノ〜!」という感じでしたね。最後の日にはイタリアン・レストランに行ったのですが、すごい量を食べて、これもびっくり(笑)。ここで「クレームブリュレ」を食べた時、目の前で砂糖を上に乗せ、焦がしてくるのですが、初めて食べたらしく、作るころや食べる時に固まったカラメルを崩したところまで、デジカメで撮影していました。ほかの和食はどうでしたか。「カナダと言えばサーモン?」と思い、塩鮭を「はんみそ汁、卵焼きと一緒に出してみました。これは好きだったよ。たよで食べていましたよ。ただ、やはり、魚よりは肉の方が好きだったよ。お土産などは、鳴子のこけしをあげたら音が鳴るのが気に入ったらしく、帰国後によこした連絡でも一番のお土産になったと言っていました。また、毛筆の筆をあげて、増田中学校でつけてくれた、漢字の当て字(★)の名前を書く練習をしました。これもうれしかったです。友達に配るのだと思うのですが、プレゼントした箸のほかに、お土産屋さんや百円ショップで、合わせて十五

最後一言お願いします。ホストファミリーになって、生活を通してカナダからの生徒と交流することで、家族全員、貴重な体験ができたことを感謝しております。彼が帰ってからは寂しくて、家族全員が「今ごろどうしてるかな」と話しています。わが家だけではなく、どのホストファミリーの皆さんにも、素敵な思い出になったことと思います。



増田中学校を訪問し交流。大歓迎を受けました。

\*三月十三日(月)に訪問した増田中学校では、全校集会の際に、カナダの生徒の名前を漢字に当てはめ、その漢字と、漢字の意味を英語で書いた手作りの額がプレゼントされました。



サッポロビール仙台工場を視察。一緒に参加したホストシスター・ブラザーと。

## カナダ ブリティッシュコロンビア州 スーク市 (The District of Sooke)

カナダ西部、バンクーバー島の西海岸に位置する、人口約1万人のまち。島の南端にある州都ビクトリアからは、車で約35分。気候の温暖な、海と森に囲まれた、美しい場所です。伝統的な産業は林業と漁業でしたが、最近では観光業が主流で、一度訪ねた人が住みやすさを求めて移住する場所としても人気があります。

